

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 門真市公共下水道事業計画（その2）（重点計画）（防災・安全）

事 前 評 價	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 関連する機関との調整が図られている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	<input type="radio"/>

## 社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月05日

計画の名称	門真市公共下水道事業計画（その2）（重点計画）（防災・安全）											
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	門真市											
計画の目標	快適に暮らせる生活基盤の整備を進めるため、市内の主要な管渠の整備を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	45	A	45	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	令和5年度当初	-	令和6年度末					
1	公共下水道における浸水対策整備面積を、重点計画として5.51ha（R6）増加させる。 公共下水道における浸水対策整備率（重点計画分） 重点計画による整備完了済み面積（ha） / 重点計画による浸水対策整備を実施すべき計画面積（ha）（重点計画面積5.51ha）	0%	0%	100%				

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input checked="" type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input checked="" type="checkbox"/>
-----	-----------	---	----------	-------------------------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	-------------------------------------	---------------	-------------------------------------

A 基幹事業																							
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	門真市	直接	門真市	管渠（ 合流）	新設	管渠整備工事	1000mm~350mm L=525m	門真市						45	-	-				
																		45					
																		45					

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	25,200	20,000			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	25,200	20,000			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	0	0			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	25,200	20,000			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	100	100			
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

